

(2) 修了生・卒業生に対する研究助成選考委員会**① 設置の趣旨（目的）及び組織****ア 組織設置の趣旨（目的）**

修了生・卒業生に対する研究助成選考委員会は、本学の創立 30 周年を記念し、優れた教育・研究の振興に貢献するため、本学大学院同窓会及び学校教育学部同窓会と連携して実施する修了生又は卒業生に対する研究助成の選考を行うことを目的として設置された。

イ 組織の構成及び構成員等

修了生・卒業生に対する研究助成選考委員会は、学長が指名した副学長、本学同窓会から選出された役員若干人及びその他学長が必要と認める者若干人で構成されている。

② 運営・活動の状況**ア 委員会等の開催状況**

令和 6 年度においては、修了生・卒業生に対する研究助成選考委員会を次のとおり 2 回開催した。

- ・ 第 1 回 令和 6 年 11 月 7 日（木）
- ・ 第 2 回 令和 7 年 3 月 5 日（水）

イ 審議された主な事項

- i) 令和 7 年度 修了生・卒業生に対する研究助成募集要項
- ii) 令和 7 年度 修了生・卒業生に対する研究助成スケジュール
- iii) 令和 7 年度 修了生・卒業生に対する研究助成の選考
- iv) 令和 7 年度 修了生・卒業生に対する研究助成の採択

ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

ポータルサイトのお知らせ、本学及び同窓会ホームページ、同窓会各支部会長・副会長・幹事宛て郵送、上越市教育委員会経由での上越市立学校及び上越市幼児保育課経由での上越市内の公私立保育園・認定こども園などへの案内文書配付等により公表・周知した。

③ 優れた点及び今後の検討課題等

本研究助成により、初等中等教育諸学校等の教育現場における修了生等の特色ある教育実践研究及び先進的取組を讃え、さらなる発展に向けて積極的に支援し、併せてその研究成果の発表の場を提供している令和 6 年度に選考した令和 7 年度研究助成の結果は、応募者が 4 人で、採択者は 1 人であった。